神谷和宏
研究と批評のポートフォリオ
テレビ特撮の社会文化史

表象論
『ウルトラマン』シリーズを中心に

何を表象しているか

どう表象しているか

異なる少年像

「少国民」的少年

メタボリズム

万国博覧会での一定の具現化

教育映画
科学映画

異境

SF

前時代表象の稀薄化

第1期『ウルトラ』シリーズ
『ウルトラQ』~『ウルトラセブン』
1966~1968

『怪奇大作戦』
1968~1969

第2期『ウルトラ』シリーズ
『帰ってきたウルトラマン』~
『ウルトラマンレオ』
1971~1975

『ザ☆ウルトラマン』
『ウルトラマン80』
劇場、ビデオ作品等

平成『ウルトラ』シリーズ以降
『ウルトラマンティガ』~
1996~

俯瞰的表象性からｎ次創作性、
データベース消費の前景化

俯瞰的表象性が優位

同時代表象の顕在化

都市

少年ドラマ

青年（ダンス・船、海、〈殴る〉ボクシング）

家族（ホームドラマ）

ディストピア

SF回帰

少年ドラマ回帰

観念

恋愛

批評

文化史
どのような文化を生み出したか
どのような文化の影響下にあるか

研究史
- 円谷英二研究史
- 特撮・『ゴジラ』シリーズ研究史
- 『ウルトラマン』シリーズ研究史
- 「ゴジラ＝戦没者」論の是非
- 「ウルトラマン＝日米安保」論の是非

メディアミックス
- テレビと映画
- アニメ・マンガ・ゲームとの関係
- 雑誌（小学館・講談社）

ファン文化
- 同人誌と『宇宙船』
- 大人の特撮ファン
- 特撮文化のシニア化

メディア史
- BS、動画配信
- ビデオの普及
- 深夜帯の開拓
- 再放送の減少

プラットフォームの多様化→作風の棲み分け

文化資源
- 観光、地域資源
- 特撮外のドラマ
- 教育・広告
- 芸術（音楽、美術等）

特撮以前
- 近代西洋の視覚文化
- 映画（異境や科学ドキュメンタリー、アトラクション性）
- 文学の異形（鬼や妖怪）
- ヌーヴェルヴァーグ
- 戦後アヴァンギャルド
- アングラ文化

草創期 1954-1966
- 東宝と、他4社の映画特撮
- 家電メーカによる提供
- 空想科学
- 立川文庫

隆盛期 1966-1970's
- 第1次怪獣ブーム
- 第2次怪獣ブーム（変身ブーム）

この時期の特徴は「表象論」で詳述

衰退期 1980's-1990's
- 業界ドラマブーム
- 昭和懐古・特撮への郷愁のまなざし
- ニューアカブームとサブカル論壇
- 嘲笑・冷笑の80年代
- 東映の特撮新シリーズ（メタルヒーロー・不思議コメディ）
- 玩具メーカーの企画参画
- アメリカSF映画
- 特撮↓少年ドラマ
- スーパーカーブーム
- ロボットアニメの台頭

再興期 1990's~
- 円谷以外の特撮の作者の発見
- ポップカルチャー概念の生起
- ものづくりへの関心と「I回帰」
- ポップカルチャーのデータベース消費

教育学
- 国語教育–メディアコンテンツと国語／国語における表象論
- 教育社会学–現職教師の教育社会学／キャリア教育（特に非都市部の生徒に対する「中学×大学」連携の効果）
- 観光教育–観光学を生かした総合的な学習の時間（地域学習）／まちづくり教育／「企業×自治体×上級学校×中学」の可能性

主な研究方法1
雑誌、新聞等の記事で関係者の証言分析、関係者への取材

主な研究方法2
特撮以前、同時代、そして「特撮以後」の文化との関係を調べる。

主な研究方法3
映像分析中心のテクスト論

主な研究方法4
作家論

主な研究方法5
ファン文化受容史研究

コラム・エッセイ

異業種のメディアミックス事業